

参加費無料

関西知的財産セミナー (10/24)

米中貿易摩擦から考える中国における 知的財産のしくみの現状と未来

【主催】大阪工業大学 知的財産研究科

大阪工業大学知的財産研究科では、知財の学びの機会を広く学外に提供することにより、関西地方の知財関係者が自由に集えるプラットフォームを形成していきたいと考えています。このたびその一環として、無料の「関西知的財産セミナー」を梅田新キャンパスにおいて開催することといたしました。皆様のご参加をお待ちしております。

開催日時	2019年10月24日(木) 【開場・受付】18:00～ 【セミナー】18:30～20:00
場所	大阪工業大学 梅田キャンパス (OIT梅田タワー) 2階 203セミナー室 (大阪市北区茶屋町1-45)
定員・締切	【定員】100名 【申込締切】10月23日(水) ※満席になり次第、締め切ります。
受講料	無料

【概要】

「米中貿易摩擦」は二年近く続き、この9月にも応酬が激化し、解決に向けて交渉は続くと考えられていますが、未だに出口が見えないため、中国経済の先行きが世界から懸念されています。その中で、米中貿易摩擦の交渉において知的財産が主なトピックスとして取り上げられ、実は法律整備から実務対応まで既に中国知財に大きな変化を齎しているのはご存知でしょうか。

本セミナーでは、「米中貿易摩擦」を切り口として、現地で働く弁護士・弁理士の目線、今後の中国経済の成り行きに予測を立てつつ、日本企業と密に関係のある最新法律整備や実務動向を解説の上、中国経済・中国知財の今後の全体像の見える化と、日本企業の知財戦略のあり方を提唱したいと考えております。

【プログラム】 ※講演言語：日本語

- (1) 米中貿易摩擦の発端、現状及び両国のそれぞれの思惑
- (2) 米中貿易摩擦の影響下、中国経済・知的財産のしくみは
どう変わろうとしているのか
(法律、経済、政策、実務の観点から)
- (3) 日本企業の中国における事業戦略・知財戦略は、この変化に
どう向き合うべきなのか？

【講師】

毛立群氏

中国弁理士・弁護士 (上海立群専利代理事務所)

中国浙江大学工学部卒業、大阪大学大学院工学研究科修士終了

2000年～2009年

松下電器産業株式会社 (現パナソニック株式会社) 技術部門、

本社知財部門勤務

2009年～2014年

中国専利代理香港有限公司 (C P A) 勤務

2014年～

上海にて立群専利代理事務所設立

お申込み・お問合せ先

大阪工業大学・知的財産研究科のHP (<http://www.oit.ac.jp/ip/graduate/>) のトップページにおける「講演・研究会情報」から、セミナー各回の詳細の紹介と参加申し込みページにアクセスすることができます。

関西知財セミナーにお申し込みいただいた方々、あるいはHPのトップページにおける「セミナー招待メール登録」でご登録いただいた方々には、今後の関西知財セミナーへの御招待メールを優先的に送信させていただきます。

【お問合せ先】大阪工業大学 知的財産研究科 事務室

〒535-8585 大阪市旭区大宮5丁目16-1 1号館8階

E-mail: OIT.Pbu@joshu.ac.jp

TEL: 06-6954-4163 FAX: 06-6954-4164